

令和8年度
専攻科学生募集要項

独立行政法人 国立高等専門学校機構
東京工業高等専門学校
National Institute of Technology ,Tokyo College

令和8年度 専攻科学生募集要項

1 アドミッション・ポリシー(入学者の受入れに関する方針)

本専攻科では、学習・教育目標の国際化・複合化に対応できる技術者を育成することを目標に、次のような入学者を求めます。

- (1) 工学の基礎を修得し、実践力、創造力、研究開発力の素養を有している人
- (2) さまざまな課題に主体的に取り組む意欲のある人
- (3) 自己表現や他者理解などを積極的に図ることができる人

◇入学者選抜の基本方針

上記アドミッション・ポリシーに合致した選抜方針としています。

(1) 推薦による選抜

出身高等専門学校長から推薦された志願者のうち、一定水準以上の基礎学力を身につけ、かつ主体的・継続的な学習意欲とコミュニケーション能力を有し、本専攻科への入学意志が強い志願者を選抜する。

(2) 学力による選抜

一定水準以上の基礎学力を身につけ、かつ主体的・継続的な学習意欲とコミュニケーション能力を有する志願者を選抜する。

(3) 社会人特別選抜

企業などにおいて一定以上の在職期間を有し、一定水準以上の基礎学力を身につけ、かつ主体的・継続的な学習意欲とコミュニケーション能力を有し、本専攻科への入学意志が強い志願者を選抜する。

2 募集人員と試験区分

専攻名	入学定員
機械情報システム工学専攻	8名
電気電子工学専攻	8名
物質工学専攻	4名

入学者の選抜は、「高等専門学校長の推薦による選抜」、「学力による選抜」、「社会人特別選抜」とします。

試験区分	募集人員
推薦による選抜	機械情報システム工学専攻 4名程度
	電気電子工学専攻 4名程度
	物質工学専攻 2名程度
学力による選抜	機械情報システム工学専攻 4名程度
	電気電子工学専攻 4名程度
	物質工学専攻 2名程度
社会人特別選抜	機械情報システム工学専攻 若干名
	電気電子工学専攻 若干名
	物質工学専攻 若干名

3 入学者選抜関係日程

推薦による選抜	Web出願受付開始	令和 7年 4月21日(月)
	出願書類受付期間	令和 7年 4月23日(水) ~5月12日(月)
	選抜試験日	令和 7年 5月22日(木)
	合格者発表	令和 7年 5月30日(金)
	入学確約書提出期限	令和 7年 6月 6日(金)

学力による選抜	Web出願受付開始	令和 7年 5月19日(月)
	出願書類受付期間	令和 7年 5月21日(水) ~ 6月 9日(月)
	選抜試験日	令和 7年 6月19日(木)
	合格者発表	令和 7年 6月27日(金)
	入学確約書提出期限	令和 7年 7月 4日(金)

社会人特別選抜	Web出願受付開始	令和 7年 5月19日(月)
	出願書類受付期間	令和 7年 5月21日(水) ~ 6月 9日(月)
	選抜試験日	令和 7年 6月19日(木)
	合格者発表	令和 7年 6月27日(金)
	入学確約書提出期限	令和 7年 7月 4日(金)

4 応募書類と提出された個人情報の利用範囲

入学志願者から提出された入学願書や調査書等に記載されている情報、及び選抜に用いた試験成績・評価といった入学者選抜を通じて取得した個人情報は、入学者選抜の資料として利用するとともに、次の目的のためにも利用します。

- (1) 入学後の教育・指導
- (2) 入学料、授業料の免除申請の審査
- (3) 奨学金申請の審査
- (4) 教育制度・入学者選抜制度の改善のための調査・研究

5 障害等を理由に合理的配慮の提供を希望する者の出願

東京工業高等専門学校では、「障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律」「文部科学省所管事業分野における障害を理由とする差別の解消の推進に関する対応指針」及び、「独立行政法人国立高等専門学校機構における障害を理由とする差別の解消の推進に関する対応要領」に則り、障害等による支援ニーズのある学生に対して、受験上または修学上の合理的配慮の提供を行っています。

入学者選抜において障害等を理由とした合理的配慮の提供を希望する者は、早めに学生課教務係までご相談ください。

なお、合理的配慮の提供には準備に時間がかかることもあるため、選抜試験日の一か月前を過ぎてからの相談及び申請では準備期間が短くなり、希望する合理的配慮を受けられず、安心して試験を受けられなくなる可能性があることに注意してください。

必要に応じて、学生・生徒とその保護者及び、在籍する学校関係者に対して、相談された内容について

質問する場合がありますが、合理的配慮に関する申請及び問い合わせ内容は入学者選抜の合否判定には一切影響ありません。また、入学者選抜試験の公平性を担保するため、合理的配慮提供の根拠となる資料の提出を求める場合があります。必要となる根拠資料に関しては、文部科学省「障害のある学生の修学支援に関する検討会報告（第二次まとめ）」によって示されている、次の説明資料等が該当します。

- (1) 障害者手帳の種別・等級・区分認定
- (2) 適切な医学的診断基準に基づいた診断書
- (3) 標準化された心理検査等の結果
- (4) 専門家の所見
- (5) 出身学校等入学前の支援状況に関する資料
- (6) 本人が自らの障害の状況を客観的に把握・分析した説明資料等

※根拠資料に関しては提出の要不要に関しても入試担当窓口までご相談ください。ご提出いただく根拠資料としての要件を満たしているかどうか、担当係において確認いたします。満たしていない場合は、その理由を明示したうえで再提出を求めることがあります。

[お願い]

入学後に修学上の合理的配慮が必要な場合には、合理的配慮提供のための準備を十分に行うために、出願前の可能な限り早い段階で「事前相談」を受けられることをお勧めします。入試後、または入学後に合理的配慮に関して初めて申請なされると、修学に必要な支援を十分に受けられなくなる可能性があります。

なお、事前相談を受けられても、入学者選抜の合否判定には一切影響ありません。

相談窓口 学生課教務係 (電話番号) 042-668-5127
(FAX) 042-668-5092 (MAIL) kyoumu@tokyo-ct.ac.jp

6 その他の注意事項

- (1) 出願後に配付する「受験者心得」をよく読んで試験会場においでください。会場では係員の指示に従ってください。
- (2) 受験者のための宿舎斡旋は行っていません。
- (3) 出願手続等、入学者選抜に関する事務については、すべて下記において取り扱います。

〒193-0997

東京都八王子市栞田町 1220-2

東京工業高等専門学校 学生課教務係

電話 042-668-5127

※祝祭日を除く月～金曜日 9:00～13:00、14:00～17:00

高等専門学校長の推薦による選抜

1. 出願資格

令和 8 年 3 月に高等専門学校を卒業見込みの者で、次の要件を満たす者。

- (1) 在籍する高等専門学校の校長が成績及び人物ともに優れていると認めて推薦する者
- (2) 本科 1 年～4 年の各学年の評価点を以下の算定式により算出し、本科 1 年～4 年の評価点の平均値が 50 以上の者

【各学年の評価点の算定式】

$$A=100-100\times(K-1)\div(N-1)$$

A:各学年の評価点、K:各学年末におけるクラス順位、N:各学年末におけるクラス人数

- (3) 入学者選抜の日から遡って 2 年以内に、TOEIC® Listening & Reading 公開テスト(以下「TOEIC 公開テスト」という。)において、400 点以上のスコアを取得している者(TOEIC-IP テストは含まない)

2. 出願手続

Web出願システムで出願手続を行い、入学検定料(16,500円)及び手数料等を納付の上、下記の出願書類を本校学生課教務係へ期限までに一括して簡易書留郵便で提出してください。郵送の際は宛先を手書きせず必ずWeb出願システムの宛名票を貼り付けてください。これらの手続が全て完了すると、申込完了メールが届きますので、そのメール受信をもって出願手続が完了となります。出願手続を完了していないと受験できませんので注意してください。なお、令和 7 年 5 月 16 日(金)を過ぎても申込完了メールが届かない場合は、本校入試窓口にお問い合わせください。

[mirai-compass 出願ログイン](#) | [東京工業高等専門学校\(東京都\)](#)



Web出願受付開始 令和 7 年 4 月 21 日(月)

出願書類受付期間 令和 7 年 4 月 23 日(水)～令和 7 年 5 月 12 日(月)16時必着

(1) 出願書類

出願書類	適用
調査書(※)	本校所定の用紙を使用し、出身学校長が作成し厳封したものに限り。調査書とあわせて、成績証明書も添付してください。
推薦書(※)	本校所定の用紙を使用し、出身学校長が作成し厳封したものに限り。
写真票	Web出願システムにより作成された写真票を印刷し、提出してください。利用する写真は、出願前3カ月以内に撮影した正面・上半身・脱帽・マスク未着用・無背景のものとし。カラー・モノクロの別は問いません。
英語能力に関する書類	①選抜期日から起算して 2 年以内に取得した TOEIC 公開テストの「デジタル公式認定証」(TOEIC 申込サイトよりデジタル公式認定証の PDF をダウンロードし印刷したもの)もしくは「公式認定証」(原本)を提出してください。「公式認定証」(原本)を提出した場合は選抜試験当日に返却します。 ②(「デジタル公式認定証」を提出する場合のみ) TOEIC 申込サイトトップページの[テスト結果]の右下にある[大学・企業等へのスコア提出]をクリックし、提出

	先団体選択で申請コード“00032601”(東京工業高等専門学校学生課)を入力し、提出する公開テストのスコアを選択の上、提出してください。 *提出方法の詳細は以下を参照すること https://www.iibc-global.org/toEIC/test/lr/guide04/score2.html
その他	現に日本国内に在住する外国人は、次の3点を提出してください。 ① 市区町村長の発行する「住民票」 ② 「在留カード」両面の写 ③ 「国民健康保険証」の写

(※)調査書、推薦書は、本校Webサイトからダウンロードし、A4縦置きで印刷したものを使用してください。

(2) 出願に際しての注意事項

- ① 出願書類等が不備なものは受理しません。
- ② 出願書類提出後は、記載事項の変更は一切認めません。
- ③ 受理した出願書類及び検定料は、いかなる理由があっても返還しません。
- ④ 提出した出願書類に事実と異なる記載があった場合は、入学後であっても入学を取り消すことがあります。

3. 選抜方法

選抜は、以下の3つの資料を総合して判定します。

- 調査書の内容
- 推薦書の内容
- 希望専攻別で行う「面接試験(専門科目による口頭試問を含む)」結果

選抜日程等

試験日	時間	科目等	出題分野・内容等
令和7年5月22日(木)	1名20分程度	面接	人物評価 専門科目に関する口頭試問

※ 入学者選抜試験は本校キャンパス内で行います。

※ 入学者選抜試験開始時間等の詳細については、出願後に配付する「受験者心得」でお知らせします。

4. 合格発表

- 令和7年5月30日(金)に簡易書留郵便で本人及び在籍学校長宛に合否結果の文書を発送します。
- 本校ホームページへの掲載、学内での掲示は行いません。また、電話による合否の問合せには一切応じません。

5. 入学確約書の提出

合格通知を受けた者は、令和7年6月6日(金)までに入学確約書を提出してください。

期限までに提出しない者は、本校への入学の意志がないものとして取扱います。

学力による選抜

1. 出願資格

入学者選抜の日から遡って2年以内に、TOEIC® Listening & Reading 公開テスト(以下「TOEIC 公開テスト」という。)において400点以上のスコアを取得している者(TOEIC-IP テストは含まない)で、かつ次のいずれかに該当する者

- (1)高等専門学校を卒業した者又は令和8年3月卒業見込みの者
- (2)短期大学を卒業した者又は令和8年3月卒業見込みの者
- (3)専修学校の専門課程を修了した者又は令和8年3月に卒業見込みの者のうち学校教育法第132条の規定により大学に編入学することができる者
- (4)外国において、学校教育法における14年の課程を修了した者
- (5)外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における14年の課程を修了した者
- (6)我が国において、外国の短期大学の課程(その修了者が当該外国の学校教育における14年の課程を修了したとされるものに限る)を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者
- (7)その他、専攻科において高等専門学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者

2. 出願手続

Web出願システムで出願手続を行い、入学検定料(16,500円)及び手数料等を納付の上、下記の出願書類を本校学生課教務係へ期限までに一括して簡易書留郵便で提出してください。郵送の際は宛先を手書きせず、必ずWeb出願システムの宛名票を貼り付けてください。これらの手続が全て完了すると申込完了メールが届きますので、そのメール受信をもって出願手続が完了となります。出願手続を完了していないと受験できませんので注意してください。なお、令和7年6月13日(金)を過ぎても申込完了メールが届かない場合は、本校入試窓口にお問い合わせください。

[mirai-compass 出願ログイン](#) | [東京工業高等専門学校\(東京都\)](#)



Web出願受付開始 令和7年5月19日(月)

出願書類受付期間 令和7年5月21日(水)~令和7年6月9日(月)16時必着

(1) 出願書類

出願書類	適用
調査書(※)	本校所定の用紙を使用して出身学校長又は学長が作成し、厳封したものに限り ます。調査書とあわせて成績証明書も添付してください。 出願資格(3)により出願する者は、以下の書類も併せて提出してください。 <ul style="list-style-type: none">• 専修学校が発行する修業年限2年以上で、かつ、修了に必要な総授業時数が1,700時間以上の専門課程を修了したことを証明する証明書• 専修学校の専門課程の学科の分野や履修内容が確認できる書類 出願資格(4)~(7)により出願する者は、出願資格にかかる最終学校の成績証明書 をもって代えます。

写 真 票	Web出願システムにより作成された写真票を印刷し、提出してください。 利用する写真は、出願前3カ月以内に撮影した正面・上半身・脱帽・マスク未着用・無背景のものとし、カラー・モノクロの別は問いません。
英語能力に関する書類	①選抜期日から起算して2年以内を取得したTOEIC公開テストの「デジタル公式認定証」(TOEIC 申込サイトよりデジタル公式認定証のPDFをダウンロードし印刷したもの)もしくは「公式認定証」(原本)を提出してください。「公式認定証」(原本)を提出した場合は選抜試験当日に返却します。 ②(「デジタル公式認定証」を提出する場合のみ)TOEIC 申込サイトトップページの[テスト結果]の右下にある[大学・企業等へのスコア提出]をクリックし、提出先団体選択で申請コード“00032601”(東京工業高等専門学校学生課)を入力し、提出する公開テストのスコアを選択の上、提出してください。 *提出方法の詳細は以下を参照すること https://www.iibc-global.org/toEIC/test/lr/guide04/score2.html
その他	現に日本国内に在住する外国人は、次の3点を提出してください。 <ul style="list-style-type: none"> • 市区町村長の発行する「住民票」 • 「在留カード」両面の写 • 「国民健康保険証」の写

(※)調査書は、本校Webサイトからダウンロードし、A4縦置きで印刷したものを使用してください。

(2) 出願に際しての注意事項

- 出願書類等が不備なものは受理しません。
- 出願書類提出後は、記載事項の変更は一切認めません。
- 受理した出願書類及び検定料は、いかなる理由があっても返還しません。
- 提出した出願書類に事実と異なる記載があった場合は、入学後であっても入学を取り消すことがあります。

3. 選抜方法

(1) 選抜は、以下の4つの資料を総合して判定します。

- 調査書の内容
- 学力検査(数学)の成績
- 英語能力 TOEIC 公開テストスコアの換算点
- 希望専攻別で行う「面接試験(専門科目による口頭試問を含む)」結果

選抜日程等

試 験 日	時 間	教科等	出題分野・内容等
令和 7年 6月19日(木)	60分	数 学	微分積分(1変数、2変数、微分方程式を含む)、線形代数
	1名20分程度	面 接	人物評価、専門科目に関する口頭試問

※ 入学者選抜試験は本校キャンパス内で行います。

※ 入学者選抜試験開始時間等の詳細については、出願後に配付する「受験者心得」でお知らせします。

(2) 学力による選抜の配点比率(100%)

検査項目	配点比率	摘要
学力検査	30%	数学(筆記試験)
英語能力	30%	TOEIC公開テストスコアの換算点
面接	40%	面接は専門科目による口頭試問を含みます。

(3) TOEIC テストのスコアの換算について

- 入学者選抜試験日から起算して、2年以内に取得した TOEIC 公開テストのスコアを以下の換算式により 100 点満点に換算します。100 点以上になる場合は 100 点とします。(小数点以下切り捨て)

- 換算式 $\text{TOEIC 公開テストスコア} \times 1/5 - 20 = \text{換算点}$

(換算例)

TOEIC 公開テストスコア	400 点	450 点	500 点	550 点	600 点以上
換算点	60 点	70 点	80 点	90 点	100 点

4. 合格発表

- 令和 7 年 6 月 27 日(金)に、簡易書留郵便で本人宛に合否及び補欠者の通知文書を発送しますので、到着は 1~2 日後となります。
- 本校ホームページへの掲載、学内での掲示は行いません。また、電話による合否の問合せには一切応じません。

5. 入学確約書の提出

合格通知を受けた者は、令和 7 年 7 月 4 日(金)までに入学確約書を提出してください。期限までに提出しない者は、入学の意志がないものとして取扱います。

なお、7 月 3 日(木)は本校本科編入学試験の実施を予定しており、当該日は入学確約書の提出窓口も閉まりますので、ご注意ください。

社会人特別選抜

1. 出願資格

出願時において企業等での在職期間が1年以上であり、選抜の日から遡って2年以内に TOEIC® Listening & Reading 公開テスト(以下「TOEIC 公開テスト」という。)において400点以上のスコアを取得している者(TOEIC-IP テストは含まない)で、かつ次のいずれかに該当する者

- (1) 高等専門学校を卒業した者
- (2) 短期大学を卒業した者
- (3) 専修学校の専門課程を修了した者のうち学校教育法第132条の規定により大学に編入学することができる者
- (4) 外国において、学校教育法における14年の課程を修了した者
- (5) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより、当該外国の学校教育における14年の課程を修了した者
- (6) 我が国において、外国の短期大学の課程(その修了者が、当該外国の学校教育における14年の課程を修了したとされるものに限る)を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者
- (7) その他、専攻科において高等専門学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者

2. 出願手続

Web出願システムで出願手続を行い、入学検定料(16,500円)及び手数料等を納付の上、下記の出願書類を本校学生課教務係へ、期限までに一括して簡易書留郵便で提出してください。郵送の際は宛先を手書きせず、必ずWeb出願システムの宛名票を貼り付けてください。これらの手続が全て完了すると申込完了メールが届きますので、そのメール受信をもって出願手続が完了となります。出願手続を完了していないと受験できませんので注意してください。なお、令和7年6月13日(金)を過ぎても申込完了メールが届かない場合は、本校入試窓口にお問い合わせください。

[mirai-compass 出願ログイン](#) | [東京工業高等専門学校\(東京都\)](#)



Web出願受付開始 令和7年5月19日(月)

出願書類受付期間 令和7年5月21日(水)~令和7年6月9日(月)16時必着

(1) 出願書類

出願書類	摘要
調査書(※)	本校所定の用紙を使用し、出身学校長又は学長が作成し、厳封したものに限り ます。調査書とあわせて、成績証明書も添付してください。 出願資格(3)により出願する者は、以下の書類も併せて提出してください。 ・ 専修学校が発行する修業年限2年以上で、かつ、修了に必要な総授業時数が 1,700時間以上の専門課程を修了したことを証明する証明書 ・ 専修学校の専門課程の学科の分野や履修内容が確認できる書類 出願資格(4)~(7)により出願する者は、出願資格にかかる最終学校の成績証明 書をもって代えます。

写 真 票	Web出願システムにより作成された写真票を印刷し、提出してください。 利用する写真は、出願前3カ月以内に撮影した正面・上半身・脱帽・マスク未着用・無背景のものとしします。カラー・モノクロの別は問いません。
英語能力に関する書類	①選抜期日から起算して2年以内に取得したTOEIC公開テストの「デジタル公式認定証」(TOEIC申込サイトよりデジタル公式認定証のPDFをダウンロードし印刷したもの)もしくは「公式認定証」(原本)を提出してください。「公式認定証」(原本)を提出した場合は選抜試験当日に返却します。 ②(「デジタル公式認定証」を提出する場合のみ)TOEIC申込サイトトップページの[テスト結果]の右下にある[大学・企業等へのスコア提出]をクリックし、提出先団体選択で申請コード“00032601”(東京工業高等専門学校学生課)を入力し、提出する公開テストのスコアを選択の上、提出してください。 *提出方法の詳細は以下を参照すること https://www.iibc-global.org/toEIC/test/lr/guide04/score2.html
実務経験報告及び志望理由	次の項目に関して1,200字程度でA4用紙1枚に、word等で作成してください。 1. 実務経験について ①どんな仕事に、どう取り組み、どのような成果を出したのか。数字で計れる成果の場合は、具体的な数字や相对比较で記載すること。 ②どんな経験・スキルを持ち、何ができるのか。 ③資格を取得した場合、どういった理由で取得しようと思ったのか。また「業務上資格が必要」という場合にも、その旨がわかるよう書くこと。 2. 志望の理由等 ①専攻志望理由。実務経験と志望動機との関連がある場合、その点も述べること。 ②その専攻の学習・研究を通じて何をしたいのか。 ③専攻科修了後、成果を将来どのように活かすのか。これから先何をを目指すのか。
職務経歴書(※)	本校所定の用紙を使用し、職務経歴書を作成してください。
出願承諾書(※)	【企業に在籍のまま入学を希望する者のみ】 本校所定の用紙を使用し、所属長が作成してください。
そ の 他	現に日本国内に在住する外国人は、次の3点を提出してください。 ・市区町村長の発行する「住民票」 ・「在留カード」両面の写 ・「国民健康保険証」の写

(※)調査書、職務経歴書、出願承諾書は、本校Webサイトからダウンロードし、A4縦置きで印刷したものを使用してください。

(2) 出願に際しての注意事項

- ・ 出願書類等が不備なものは受理しません。
- ・ 出願書類提出後は、記載事項の変更は一切認めません。
- ・ 受理した出願書類及び検定料は、いかなる理由があっても返還しません。
- ・ 提出した出願書類に事実と異なる記載があった場合は、入学後であっても入学を取り消すことがあります。

3. 選抜方法

入学者の選抜は、実務経験報告及び志望理由、調査書及び希望専攻別で行う「面接試験（専門科目による口頭試問を含む）」の結果を総合して判定します。

選抜日程等

試験日	時間	科目等	出題分野・内容等
令和 7年 6月19日(木)	1名20分程度	面接	人物評価 専門科目に関する口頭試問

※ 入学者選抜試験は本校キャンパス内で行います。

※ 入学者選抜試験開始時間等の詳細については、出願後に配付する「受験者心得」でお知らせします。

4. 合格発表

- 令和 7年 6月 27日(金)に、簡易書留郵便で本人宛に合否及び補欠者の通知文書を発送しますので、到着は 1~2 日後となります。
- 本校ホームページへの掲載、学内での掲示は行いません。また、電話による合否の問合せには一切応じません。

5. 入学確約書の提出

合格通知を受けた者は、令和 7年 7月 4日(金)までに入学確約書を提出してください。

期限までに提出しない者は、入学の意志がないものとして取扱います。

なお、7月3日(木)は本校本科編入学試験の実施を予定しており、当該日は入学確約書の提出窓口も閉まりますので、ご注意ください。

東京工業高等専門学校専攻科案内

1. 専攻科の教育について

専攻科は、5年間の高等専門学校における教育の上に立ち、本科で修得した特定分野の知識とスキルを基盤に、さらに国際性を身につけ、実践的な研究環境のもとで、融合複合分野に対応できる、ものづくり志向の技術者の育成、つまり「国際化・複合化に対応できるものづくり技術者を育成する」ことを教育目的としています。

これらを達成するために、実践的な研究、長期海外研修型や共同研究型のインターンシップ、企業経営者との交流、外国での研究者、技術者との交流などを通して、自ら考え、実行し、課題解決を体験しながら、「任せられる技術者」、すなわち「一本立ちした技術者」を育成します。国際的視野、技術者として持つべき教養、挑戦力、自らを磨く資質などが本科に付加されたものです。

本専攻科では、これらの教育目的を鑑み、以下に示すディプロマ・ポリシーにて、専攻科修了時に必要な能力として定めています。

■ディプロマ・ポリシー（修了の認定に関する方針）

本専攻科は、工学およびその融合領域において、学生が自ら考え行動する力と科学技術を社会に実装する力を育む教育研究活動を通して、環境保全への高い意識と社会的倫理観を持ち、異文化を理解する力とコミュニケーション力を兼ね備え、総合的視野に立って実社会に役立つ価値を創出できるグローバル技術者の育成を目指しています。

本専攻科では、以下に示す能力を身につけ、学則で定める修業年限以上在学し、所定の単位を修得した学生に対して修了を認定します。

- (1) 持続可能な社会の実現に向けて、技術者に求められる倫理観と行動規範を理解し、生涯にわたって自己啓発・管理できる能力
- (2) 持続可能な社会の実現に向けて、科学技術が環境に与える影響を常に意識し、自ら修得した専門知識および技術を複合・融合的に応用して社会に実装する能力
- (3) 基礎的な知識および実験スキルに加えて、創造力、企画力に富み、PDCA サイクルをまわして研究開発を推進できる能力
- (4) 異なる文化や社会を理解する柔軟性を持ち、言語の異なる他者とも協力して問題解決に邁進できる能力

2. 専攻科の特別研究と研究テーマについて

専攻科の特別研究は、特例適用専攻科の学修総まとめ科目として位置付けています。学修総まとめ科目（特別研究）は、学士課程4年間に相当する教育課程（本科4、5年及び専攻科1、2年）において行った学修を総括する科目であることから、特別研究を合格することを専攻科修了の最終的な要件としています。

また、学位申請では専攻ごとに専攻区分が決められているため、その区分の中で指導教員の研究内容に応じて特別研究の研究テーマは決められています。研究テーマは本校のWebシラバスより確認することができます。よって、自分が取り組みたい研究テーマを、専攻ごとに設定された研究テーマ（個表と呼ぶ）から選ぶことになります。ただし、他専攻の研究テーマを選ぶことはできませんし、個表に対応する指導教員の研究室の状況によっては、希望できない場合もあります。

3. 学位の取得

本校専攻科は、平成27年度より大学改革支援・学位授与機構（以下「学位授与機構」という）から、特例適用専攻科（学士の学位の授与に係る特例の適用認定を受けた専攻科）として認定を受けています。特例適用では、学位授与機構の試験が免除され、学校が専攻科修了見込み者全員分をまとめて学位授与機構に申請し、一括審査されることになります。審査に合格した者は専攻科修了時に学士（工学）の学位を取得することができます。学位授与機構で審査される項目は次のとおりです。

- ① 学位授与機構の定める修得単位に関する基準を満たしているか。
- ② 学修総まとめ科目（本校では「特別研究」）において、学士課程4年間に相当する学修の総括が行われ

学士の学位の授与に値する学修の成果が得られているか。

尚、本特例適用が適用されるには、「特例適用認定校」からの進学者、かつ認定された教育課程を修了した者の場合のみとなります。社会人からの入学者、「特例適用認定校」以外からの入学者で本科 4・5 年次の単位取得科目が本校の同区分学科 4・5 年科目に読み替えできない場合は、学位授与機構の学位認定試験を受ける方法(学位授与機構の「新しい学士への途」を参照)で学位を取得することになります。

4. 入学時に必要な経費

(令和7年度入学生実績)

種別	金額	備考
入学料	84,600円	入学手続き時に納入する。
授業料	117,300円 (前期分)	年額234,600円を2期に分けて納入する。(一括納入も可能)
教科書代	約40,000円	各専攻により別途指定する。

注1) 入学料、授業料については、高等専門学校機構本部からの通知により金額が改正される場合があります。

注2) 在学中に授業料改正が行われた場合は、改正時から新授業料が適用されます。

5. 学料または授業料の免除(減免)及び徴収猶予について

入学料または授業料の免除(減免)及び徴収猶予は、「(1)文部科学省発令の高等教育の修学支援制度」、「(2)独立行政法人国立高等専門学校機構による制度」の2通りがあります。

(1)文部科学省発令の高等教育の修学支援制度について

令和2年度から文部科学省により開始された新しい修学支援制度です。採用された場合、入学料・授業料の減免及び給付奨学金が支給されます。なお、令和7年度より多子世帯(生計維持者の扶養する子どもが3人以上いる世帯)への支援が拡充され、所得制限なく授業料が無償となります。

【対象世帯】

住民税非課税及びそれに準ずる、以下のいずれかの区分に該当する世帯が対象となります。

第Ⅰ区分:本人と生計維持者の市町村民税所得割が非課税であること

第Ⅱ区分:本人と生計維持者の支給算定基準額の合計が100円以上25,600円未満であること

第Ⅲ区分:本人と生計維持者の支給算定基準額の合計が25,600円以上51,300円未満であること

第Ⅳ区分:本人と生計維持者の支給算定基準額の合計が51,300円以上154,500円未満であること

多子世帯:所得制限なし

※1 上記、家計基準の他に学力基準があります。また外国籍の方は在留資格に制限があります。

詳しい内容は以下日本学生支援機構のホームページをご確認ください。

(日本学生支援機構ホームページ)

<https://www.jasso.go.jp/shogakukin/kyufu/shikaku/zaigaku.html>



※2 減免・支給額は区分により異なります。所得基準を満たすかどうかは、上記、日本学生支援機構のホームページに掲載されている「進学資金シミュレーター」でおおよその確認ができます。

(2)独立行政法人国立高等専門学校機構による制度について

①入学料の免除

(災害等による入学料免除)

[1] 入学前1年以内において、学資負担者が死亡した場合又は入学者若しくは学資負担者が風水害等の災害を受けた場合

[2] 前号に準ずる場合であり、かつ、校長が相当と認める事由がある場合
(私費留学生に対する入学料免除)

経済的理由によって入学料の納付が困難であり、かつ、学業優秀と認められる者
(その他特別な事由の場合)

入学料を免除することが相当と認められる事由がある場合

②入学料の徴収猶予

[1] 経済的理由によって納付期限までに納付が困難であり、かつ、学業優秀と認められる場合

[2] 入学前1年以内において、学資負担者が死亡した場合又は当該入学者若しくは学資負担者が風水害等の災害を受け、入学料の納付期限までに納付が困難であると認められる場合

[3] その他やむを得ない事由があると認められる場合

③授業料の免除

(災害等による授業料免除)

[1] 授業料の各期の納付期限前6月以内(新入学生に対する入学した日の属する期分の免除に係る場合は、入学前1年以内)において、学資負担者が死亡した場合又は学生若しくは学資負担者が風水害等の災害を受けた場合

[2] 前号に準ずる場合であり、かつ、校長が相当と認める事由がある場合
(私費留学生に対する授業料免除)

経済的理由によって授業料の納付が困難であり、かつ、学業優秀と認められる場合
(その他特別な事由の場合)

[1] 授業料の各期の納付期限前6月以内において、学資負担者の失職等により著しい家計の急変があった場合

[2] その他授業料を免除することが相当と認められる事由がある場合

④授業料の徴収猶予

[1] 経済的理由によって納付期限までに納付が困難であり、かつ、学業優秀と認められる場合

[2] 当該学生が行方不明の場合

[3] 学資負担者が死亡した場合又は学生若しくは学資負担者が風水害等の災害を受けたことにより、納付が困難と認められる場合

[4] その他やむを得ない事由があると認められる場合

(1)、(2)の申請希望者は入学前に改めて申請の手続きを配付しますのでそちらをご確認ください。

6. 奨学金制度

日本学生支援機構の規定に基づき、学業・人物ともに優れ、かつ健康であって学費の支弁が困難と認められる者に対し、本人の申請に基づき、選考のうえ奨学金が給付または貸与される制度があります(高専在学中に日本学生支援機構から奨学金を受けていても、改めて申し込むことになります)

7. その他

ご不明な点等については、以下連絡先までお問い合わせください。

独立行政法人 国立高等専門学校機構 東京工業高等専門学校
【連絡先】 〒193-0997 東京都八王子市栢田町 1220-2
電話(042)668-5127〔学生課教務係〕
※受付時間 祝祭日を除く月～金曜日 9:00～13:00, 14:00～17:00